

第46回東海地域一般男子ソフトボール大会
第31回東海地域実年ソフトボール大会
第11回東海地域ハイシニアソフトボール大会
第26回東海地域エルダーソフトボール大会

開催に伴う「新型コロナウイルス感染症防止及び熱中症防止対策マニュアル」

【新型コロナウイルス感染症防止対策】

1 共通留意事項

- (1) 三つの密(密閉、密集、密接)の発生が原則想定されないこと(人と人との間隔はできるだけ2mを目安に)
- (2) 大声での発生、歌唱や声援、又は近接した距離での会話等が原則想定されないこと
- (3) 事業を開催する自治体の方針に従うことを前提とする
- (4) 会場への関係者の移動は、極力、公共交通機関を利用しない
※利用する場合はマスクの着用や混雑をさけた時間帯・車両の利用に心掛ける
- (5) 大会を開催するにあたり、監督会議、開会式、閉会式、懇親会およびファンサービスなど人が密集するイベントは実施しない
- (6) 各種会議など室内で実施する場合は、こまめな換気をし、会場への入退室時の消毒を徹底する
※事務連絡などがある場合は、事前に参加チーム連絡責任者にメール等で周知する
- (7) 参加者全員に対して、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策のため、日本協会作成の別紙「連絡先および健康状態申告(チーム関係者用)」「役員・選手等)」の提出をお願いする
なお、提出された個人情報の取り扱いには十分配慮する

2 大会開催における留意事項

(1) 大会関係者への対応

① 入場制限

- (a) 競技運営に直接携わらない関係者の来場を控える
- (b) 来賓の方の入場はできる限り遠慮してもらう
- (c) 運営スタッフ(審判・記録員含む)の人数およびチーム関係者の来場人数についても(ベンチ入りメンバー以外)についても、必要最低限に止める

<人員の詳細(4会場1日分の人員)>

競技役員(補助員):20名、審判員:32名、記録員:8名、チーム関係者(16チーム)約:240名・監督等:40名 合計:約340名

<会場毎の詳細>

・使用会場は、

可児市総合運動公園3面・姫治市民運動場1面の計4面 使用

双方とも運動公園のため専用の観客席は無し

観戦者が密にならないように「放送でのアナウンス」「掲示による周知」「巡回による声かけ」をする

② 体調管理

参加当日の朝に体調不良(発熱、倦怠感など)である関係者は、来場を禁止する

③ メディア対応

- (a) 報道用受付を準備し、日本協会作成の「取材マニュアル」に従うように依頼する
- (b) グラウンド内においては、記者席を設け密にならないように2m間隔で仕切る
- (c) 試合後のインタビューは密にならないよう場所等を考慮し2mの間隔をとり行う
- ④ 感染予防
 - (a) マスク着用の徹底(プレー中の選手・審判員は例外)
 - (b) 入場の際に消毒液での手洗いを徹底する(各所に消毒液を設置)
 - (c) 球場の各諸室(トイレ・更衣室を含む)は、換気のため密閉を避ける
 - (d) 大会本部(10名/収容20)、記録本部(5名/収容10)等50%以下による諸室とし、運営関係者間の距離は、2m(最低1m)を保つ ＜記録本部設置の場合＞
 - (e) 会場への移動は、原則バスや車移動とし車内の換気を徹底する
 - (f) タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避ける
 - (g) 鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人はマスクや手袋をし、外した後は必ず手指消毒をする

(2) 観戦者への対応

- ① 観戦者に発熱、咳、倦怠感、咽頭痛などの症状が見られる場合には観戦を遠慮してもらおう(HP等で事前告知)
- ② 球場(会場)への入口等に消毒液を設置
- ③ 球場への入場制限については、「施設管理者利用制限」に従い実施する(収容人員50%)
また、観戦者にマスク着用及び間隔(1席開ける)を開けるよう呼びかけを行う
- ④ 応援方法については、以下の行為を禁止する
 - (a) 動きのある応援はしない(接触感染リスク)
 - (b) 楽器での鳴り物応援(飛沫感染リスク)
 - (c) 大声を出しての応援(飛沫感染リスク)
 - (d) フラッグや応援タオルを振り回す応援(飛沫、接触感染リスク)
- ⑤ 喫煙所を設置する場合は「三つの密」を避ける措置を施す

(3) 競技を行う上における「コロナウイルス感染防止対策」(練習含む)の留意点

- ① 試合前に行う審判と監督との最終確認は十分な距離2m(最低1m)確保する
もちろん握手もしない
- ② 試合開始時、終了時の互礼は、両チームベンチ前で間隔を空け整列して行う
- ③ 試合中のベンチ内、コーチャーズボックス内はできるだけマスク着用とし、特にベンチ内での選手間の距離は、できるだけ2m(最低1m)確保する。また、ベンチ内にも消毒液を置く
- ④ バット、ヘルメット、グローブ、ロジンなどは各選手が使用し、可能な限り他の選手との共用を回避するように努め、共用せざるを得ない物については、こまめに消毒を行う
- ⑤ 唾を吐く行為を禁止する
- ⑥ 選手、特に投手は指を舐めてはいけない
- ⑦ 握手、ハイタッチ、ハグなどの身体的接触を避ける
- ⑧ 球審はマスクを着用する(体調により義務ではない)
- ⑨ タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避ける
- ⑩ チームベンチ、球場本部、大会本部等、人が集まりやすい場所に消毒液を設置する

(4) 競技を行う上における「熱中症防止対策」の留意点

- ① 経口補水液を大会本部、球場本部に常備する
- ② エアコン設置の救護室を用意する

3 事業開始に伴う留意事項

- (1) 準備するもの

- ① 各会場の入口
 - (a) ポンプ式の消毒液(70%アルコール(エタノール))などを設置する
 - ② 手洗い場所・洗面所(トイレ)
 - (b) 手洗い場所には石けんを用意する
 - (c) 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする
 - (d) 参加者には自身のハンカチを持参することを求める
- (2) 事前の対応
- ① 主催者は、開催要項等作成の際は、下記事項を告知して当日の感染予防策を講じる
 - (a) 当日の体調確認(例:発熱、咳、倦怠感 等自覚症状がある場合)
 - (b) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (c) 当日から2週間前までに以内に発熱、咳、倦怠感、等自覚症状があった場合
※上記の事項に該当する場合は当日参加の見合わせを求める
 - ② 移動時の感染予防策として会場への移動時、公共交通機関を利用の際は、マスク着用をお願いする
 - ③「岐阜県感染警戒QRシステム」又は「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」の周知を行い活用を促す